

# 感謝! 沖縄70リバイバルミッション お祈りとお協力、ありがとうございました。

■発行所 / 全日本リバイバルミッション  
 ■主幹 / 滝元明  
 ■〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1  
 ■TEL.0536-23-6712  
 ■FAX.0536-23-6220

July  
 2015  
 7

## ALL JAPAN REVIVAL MISSION NEWS 全日本リバイバルミッションニュース



だから、こう祈りなさい。「天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように。私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。私たちの負いめをお赦してください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。」〔国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。〕  
 マタイの福音書6章9-13節

### 御国が来ますように

キリスト教の祈りの中で最も有名なものは、主イエスが弟子たちに教えられた「主の祈り」です。クリスチャンであるなら、教派を問わず誰でもこの祈りをささげたことがあるでしょう。この祈りの心臓部ともいえるのが、「御国が来ますように。」という部分です。ある意味で、これに続く部分は、この「御国が来ますように」の注解であるといっても良いと思います。  
 それでは、「御国が来る」ということはどういう意味なのでしょう? 「御国」とは、具体的な地理的領域を指すわけではありません。(「日本」や「アメリ

カ」という国が「来る」というのは、なかなかイメージしにくいものです。) 「御国」と訳されているギリシア語basileiaは「王」を意味するbasileusの派生語で、英語ではKingdomと訳されますが、もっと正確に言うと、「王としての支配・統治」ということです。つまり、「御国が来る」とは、地上に神の支配が実現する、ということなのです。  
 続いて主イエスは、「みこころが天で行われるように地でも行われますように。」と祈るように教えられました。みこころが行われるとは、すなわち神の支配が実現することです。つまり「御国が来る」とは、「天において既に実現している神の支配が地上においても実現する」ということにほかなりません。  
 ここで注意すべきなのは、主イエスが弟子たちに祈るように教えたのは、「御国(=神の国)が地上に到来するように」ということであって、「私たちが地上を去って御国に入れますように」ということではない、ということです。主イエスの弟子たちが日々祈るべきことは、彼らが悪に満ちた地上から救い出されて天国に入れられることではなく、神の支配が地上に現され、この地がそのみこころに従って統治されることなのです。  
 私たちクリスチャンは今日も「御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように」と祈ります。このように祈る時、私たちはこの地上を脱出して別世界に逃避することを願うのではなく、神の支配がこの地上に実現することを求めます。そして、教会を通して地上に神の支配が

現されていくために、私たちの日々の必要が満たされ(「私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。)、神と人との間の正しい関係が築き上げられ(「私たちの負いめをお赦してください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。)、試みや悪から守られる(「私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。))ことを祈っていくのです。  
 「主の祈り」とはまさに、「時が満ち、神の国は近くなった」(マルコ1章15節)という主イエスの宣教の言葉を信じた者たちが祈る、応答の祈りです。この祈りを日々祈ることは、主が始められた福音宣教のわざを継続していくことに他ならないのです。  
 全日本リバイバルミッションの働きも、まさにこのような「御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように」という祈りとともになされていく、神の国の運動であると思います。この働きを通して、日本において、アジアにおいて、世界において、神の国が到来し、神様のみこころが実現していくことを願っています。そのために、これからもお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。



●リバイバル聖書神学校校長  
 Kazubiko Yamazaki-Ransom  
 山崎ランサム和彦



## 沖繩70 リバイバルミッション ファイナル速報!

6月20日と21日、沖繩70リバイバルミッションのファイナル集会在、かでな文化センターを会場に開催されました。戦後70年を記念して4月から3ヶ月近くにわたって、もたれて来た備きのクライマックスを迎えることができました。

土曜日に行われた2つのセミナーはどちらも会場いっぱいの人々が詰めかけ、熱心な学びのひとときとなりました。

日曜日の午後にもたれた「教会広場」では、沖縄内外から参加した8つのグループが多彩なスタイルで主を賛美し、会場を沸かせました。

そして、4回行われた伝道集会「ゴスペルタイム」では、アメリカから駆けつけてくださったゲストミュージシャン、ロン・ブラウンさん、ティム・ケブラーさん、イヴォンヌ・ウィリアムズさんたちが捧げる熱い賛美とともに、全日本リバイバルミッション実行委員の4人の講師が全力投球で福音のメッセージを取り次ぎ、多くの方々がそれに応答されました。沖縄のリバイバルがさらに前進していくことを期待します。

沖繩70リバイバルミッションにおける各教会での集会数は80を越え、多くの救いを見るときとなりました。ファイナルと合わせて詳細は次号にてご報告させていただきます。



## 太平洋戦争70年後の今 福音宣教を考える

### シリーズ⑦ SIRネットワーク代表 瀧元 望

フィリピン。スペイン、アメリカという帝国から統治支配を受けてきたという名残が色濃く残る国。

1942年5月6日、「大日本帝国」と自ら「帝国」を名のるその軍隊が、アメリカ軍を駆逐しフィリピン全土を支配しました。最後の砦となったコレヒドール島にはフィリピン政府が造った記念碑があり、70年後のその日にも大統領も参席して記念式典が開かれました。博物館には抗日戦争の激しさや悲惨さが描かれており、JAPANESE PESOと記された日本軍が発行した軍票も展示されていました。その支配は経済的な破壊をも意味していたのです。

1944年10月22日、マッカーサー率いる連合軍がフィリピン奪還のため、レイテ島に上陸しました。マッカーサーが上陸したバコの海岸でも、70年後の式典が開かれ、フィリピン大統領、在フィリピン米国大使、日本大使がスピーチをし、アメリカ人の退役軍人、レジスタンスとして日本軍と戦った老人も参席していました。2013年11月9日に巨大台風がレイテ島を襲い、その復興途上にあるの

式典開催でした。

日本海軍が編成した「神風(しんぷう)特攻隊」は、1944年10月25日にルソン島マバラカットから出撃し、レイテ沖で最初の「特攻」が行われました。その70年後、マバラカットの「平和観音宮(Goddess of Peace Shrine)」と呼ばれる観音像の前では、真言宗系の僧侶達が護摩炊きをし、それに合わせて市長や市民も参席して供養祭が開かれました。70年経って尚こだわり続ける執念はどこから来るのでしょうか？

勝利と敗北。そのどちら側にも大きな傷が生まれます。日本軍がフィリピンを手に入れる過程でも、パターン半島での死の行進などによって多くの米兵が犠牲になり、日本軍の支配に抵抗し、戦ったフィリピン人レジスタンスのおびたしい血が流れました。一方、レイテ島上陸から始まった連合軍のフィリピン奪還の戦いでは、「徹底抗戦」の命令を受けていた日本軍が玉砕に次ぐ玉砕を繰り返し、フィリピン周辺海域を含め約50万人の日本兵が戦死しました。

フィリピンをイメージする時、「混沌」という言葉が浮かびます。政治的にも、治安の意味でもその言葉通り、多種多様な課題を持っていると言われます。この「混沌」を生み出した理由に、70年前の戦争の出来事が関わっているのではと思われされます。

フィリピンで10年近く宣教師として奉仕されている方

が言われた言葉を忘れることが出来ません。「フィリピンの方々を牧会してきて、時間が経てば経つほどその心が複雑で理解出来ないことがある」。もしかしてフィリピン人の方々の心の中にも「混沌」があるのかも知れないと考えさせられます。

親日家で日本企業に勤めていたフィリピン人クリスチャンの方でコレヒドール島やルソン島の戦場となった地域を巡った時のことです。

片言の日本語を話し、車の運転をしてくださり、とても親切な方でした。私たちがとりなし祈っている姿を最初は見ているだけの彼でしたが、とりなしの意味いや目的をお話するうちに、最後にとりなしの祈りの輪に加わってくださるようになりました。カリラヤという激戦地に日本政府が造った慰霊施設では、フィリピン人として日本人を祝福するとお祈りして下さるまでになりました。

その帰路、車を運転しながら「私の父も、お祖父さんも、親戚もかつてはこの地域でレジスタンスとして日本軍と戦いました。そして、親戚は日本兵に殺されました。」と遠くの山を指さしました。

にこやかに日本人である私たちを迎えてくださった彼の心の奥底にあった思いが、神様の前で「日本人を赦します。祝福します。」と祈ることから十字架によって溶かされていくことを感じました。十字架の和解の福音は赦しを双方に与え、心を溶かす力なのです。

# ナガランド・インパール リバイバルミッション 準備現地訪問レポート Nagaland/Imphal Revival Mission

For our 20th Anniversary:  
Asia/Pacific Rim Mission



多くの祈りに支えられ、今年の11月に開催される「インパール、ナガランド・リバイバルミッション」の準備のため、5月に再び、マニプル州インパールと、ナガランド州コヒマを訪問させていただきました。

今回は、ナガランドから宣教師として遣わされ、日本で25年以上働いておられるカメイ・ダイタオ先生、韓国リバイバルミッションで事務局を担当して下さったチェ・ヨンド先生とともに、初めて、印・韓・日の国際チームで、現地を訪問させていただきました。

リバイバルミッションからの訪問は、これで3回目です。現地の牧師会では、「日本から3回も、真摯に和解と一致のために訪問してくれ、大きな感動を覚えます。私たちも全力で11月の本大会の準備に当たります」と言われました。日本側の熱意と、ミッションの意図が現地によく理解され、開催準備は順調に進んでいます。

毎回、感動するのは、この地域のクリスチャン率の高さです。特に、ナガランド州は人口200万人ほどですが、その90パーセント以上がクリスチャンです。街や村には至る所に教会があり、

山々に賛美が響いています。現地で出会う誰とでも、信仰の話が出来ます。

しかし、このような環境になったのも、遠い昔の話ではありません。ナガランドは、イギリスの支配、日本軍の侵入と度重なる戦火によって村が焼き払われ、人々はジャングルの奥に逃げ込むしかありませんでした。太平洋戦争終結後もインド正規軍が侵攻し、民族存亡の危機に直面したというのです。ナガ族の人々は何千年もの間、アニミズムとシャーマニズムの土着信仰により、森の精霊や悪霊を恐れていました。部族間の闘争も激しく、他部族の首を狩り、部族のアイデンティティを保っていたのです。しかし、戦争によってすべてが失われたとき、少数のクリスチャンたちが森に集まり、自分たちの罪を悔い改め、真剣にリバイバルを求めて祈るようになったというのです。

今回私たちは、ナガランドで最初にリバイバルが起こった「ザディマ村」を訪問することが出来ました。

村の記録によると、1959年3月19日の夜、ザディマ村の祈禱会に激しく聖霊が注がれ、森に潜む悪霊どもが露わにされ、リバイバルの炎がナガランドの山々に野火のように広がり、今や、90パーセント以上がクリスチャンになったというのです。

ザディマ村の教

会の霊的リーダーたちと共に、ミッション開催に向けて祈禱会をもちますと、祈りはすぐに当時の雰囲気や彷彿させるような熱い祈りとなりました。1992年2月13日、甲子園ミッションの準備のただ中で、激しく聖霊が注がれた、日本の私たちに起きた事と同じ事が、ナガランドにも起きていたのです。

しかし、日本には依然としてリバイバルは起こっていません。その違いはどこにあるのかと、今回、その場所で深く考えさせられました。そのとき祈りの内に示されたことは、日本がその地域で犯した罪の悔い改めと、和解の働きの重要性でした。

日本教会は戦後、韓国や台湾、そしてアジアの主要な国々とは、和解の働きを進めてきました。しかしながら、日本が侵攻した最西端、ナガランド、インパールは、ほとんど意識されることがありませんでした。

今回のミッションを通し、最後の誓が崩され、日本にもリバイバルの炎が燃え上がることを期待しています。

●リバイバルミッション実行委員 滝元 順



## ナガランド・インパールのために続けて祈り、 11月は現地にお出かけください。



2015年

11月25日 [水] — 26日 [木] ナガランド州コヒマ

11月27日 [金] — 29日 [日] マニプル州インパール

●本大会参加ツアー計画中!

11月23日 [月] — 12月1日 [火] (9日間) <予定>

決起  
大会

8月19日 [水] 出発 — 26日 [水] 帰国 ●講師 / 有賀喜一

# リバイバル聖書神学校

何を勉強するの？

神学校って  
どんなところ？

そんな疑問をお持ちの方、神学校での学びに興味はあるけれども、実際にご自分の目で環境を確かめたい方。そんな方は、ぜひ便利な無料体験入学制度をご利用ください！

## 無料体験入学

- 毎月行われているリバイバル聖書神学校の授業を受講することができます。
  - 登録料・授業料無料！滞在費(食費・宿泊費)のみで参加できます。
  - 年間を通じていつでも、1講義から参加できます。
- ※無料体験入学をご希望の方は、神学校事務局までお問い合わせください。入学資料と共に無料体験入学券をお送りいたします。  
※無料体験入学は一人様1回限りとさせていただきます。通常の聴講は随時受け付けています。

## 7月スケジュール

### 7月7日[火]

- 1~3限:ヨハネの福音書(平岡修治)
- 4限:戦略的霊的戦い(滝元望)
- 5限:特別講座・戦略的霊的戦い(滝元望)

### 7月8日[水]

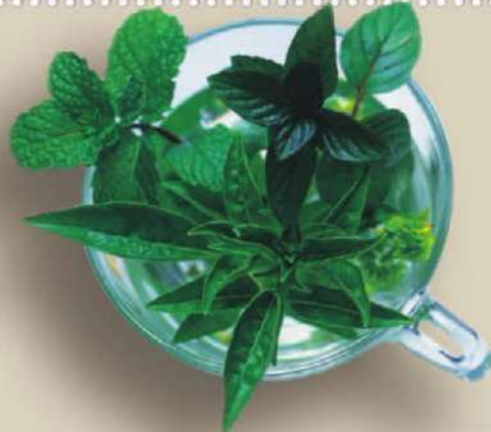
- 1~3限:旧約聖書概論(石黒則年)
- 4~5限:戦略的霊的戦い(滝元望)
- 20:00~祈禱会

### 7月9日[木]

- 1限:ヘブル書(有賀喜一)
- 2~3限:新約聖書神学(山崎ランサム和彦)
- 4限:[1年生]聖書解釈学入門(山崎ランサム和彦)  
[2-3年生]キリストの良い証人(有賀喜一)

### 7月10日[金]

- 1~2限:ヘブル書(有賀喜一)
- 3~4限:新約聖書神学(山崎ランサム和彦)



## 霊的戦い専門課程、好評開講中!

教職者を中心に、教会伝道の現場で霊的戦いを実践しておられる方々のために、一歩進んだ霊的戦いの学びを提供する、霊的戦い専門課程。毎月多彩なテーマでの学びがなされています。

### 7月度日程

2015年7月27日[月]10:30-28日[火]16:00

費用/全参加14,139円[税込・食費・宿泊費含む]

お問い合わせ、参加申込みは、神学校事務局まで。

※霊的戦い専門課程は通常のセミナーとはことなり、教職者および教会による推薦を受けた方々を対象として開講しています。信徒として個人的に霊的戦いの学びを希望される方は、神学校の聴講あるいはDVD講座の受講をおすすめします。

### ●霊的戦い専門課程 9月から新年次スタート

- 2015年 9月28~29日・10月26~27日・12月7~8日  
(インパール・ナガランドミッションのため、11月は休講)
- 2016年 1月25~26日・2月22~23日・3月28~29日・4月25~26日  
5月23~24日・6月27~28日・7月25~26日



## DVD講座のご案内

1講義(90分2,000円)からでも受講可能!登録無料、ご注文合計3,000円以上の場合、送料無料でお届けします!便利でお得なDVD講座をぜひご利用ください。

### ●6月度の講義

- 新約聖書神学9-12 山崎ランサム和彦(全16講義予定)
- ヨハネの福音書7-9 平岡修治(全21講義予定)
- 聖書解釈学入門3 山崎ランサム和彦(全11講義予定)
- 霊的戦いの諸相7-9 滝元望(全30講義予定)
- ヘブル書7-9 有賀喜一(全12講義予定)
- 戦略的霊的戦い3 滝元望(全10講義予定)

\*講義の時間数は変更になる場合があります。\*DVDによっては、神学生のみへの提供となるものもございます。あらかじめご了承ください。



●お問い合わせ資料請求は今すぐ! 神学校事務局まで



REVIVAL BIBLICAL SEMINARY **リバイバル聖書神学校**

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1 ●Tel.0536-23-6720 Fax.0536-23-6220  
E-mail seminary@j-revival.com ホームページ <http://www.j-revival.com/rbs/>

## Zawameki 2015 Schedule

歌おう! 日本の回復を!  
叫ぼう! 主への賛美を!

7.5 [日] 10:30~  
Zawameki Church Live@  
西尾聖書バプテスト教会  
愛知県西尾市相模町北高津1-2-2

7.10 [金] 17:30~  
Zawameki Church Live@  
大阪教会  
大阪府大阪市西成区太子1丁目1-14  
JOCビル会堂

7.18 [土] 19:00~  
Zawameki Worship Show 新城  
会場/新城教会  
愛知県新城市富沢407-1

8.9 [日] 10:30~  
Zawameki Church Live@  
伊那エクレシア  
長野県伊那市高島町2-7-1



7.11 [土] 14:00~  
Zawameki Church Live@  
大阪弟子教会  
大阪府大阪市中央区南船場1-3-6  
JOCビル会堂

7.22 [水] 19:00~  
Zawameki Church Live@  
彦根ニューホープチャペル  
彦根市彦根市山ノ宮27-1

8.15 [土] 15:00~16:00  
Zawameki街角同創PrabudVol.28  
★東京は石神井公園にて開催!  
東京都練馬区石神井1丁目26-1

7.25 [土] 14:30~  
Zawameki Worship Show 東京Vol.137  
会場/お茶の水クリスチャンセンター  
B1 アイリーンホール  
東京都千代田区神田豊洲2-1

Zawameki 〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1  
Tel.0536-23-0024 Fax.0536-23-6220

club@zawameki.com 郵便番号Zawameki口座番号 00880-9-56347



Zawameki 12

focus is coming soon!

### Zawameki シリーズ第12弾。

世界的ベストアーティスト Alex Allis をプロデューサーに迎え、A.録音! サタンの手より音楽を奪回! 今、主に最高の賛美がささげられる。



好評発売中!

お求めは、プレイズ出版  
全国キリスト教書店にて取り扱っています  
プレイズ出版 Tel.0536-23-6195

Zawamekiの  
ホームページが  
新しくなりました!  
[www.zawameki.com](http://www.zawameki.com)



会計報告 2015年5月度		
収入	支出	
前月繰越金	1,060,160	
一般献金	2,632,341	事務運営管理費 761,854
沖縄70集会所金	1,086,669	一般事務交通費 73,412
集会所助費・献金	633,450	通信費 393,638
		印刷費 307,422
		沖縄70経費 1,691,114
		集会所経費 208,591
		総経大会経費 208,591
収入合計	4,355,660	支出合計 3,737,813
		次月ミッション繰越金 -442,313
毎月ざわめき録音金	848,877	
ざわめき献金・集会所収入一式	284,180	ざわめき経費一式 341,836
		次月繰越金 791,221

いつも全日本リバイバルミッションのた  
めにご支援くださり感謝いたします。  
沖縄の大会も祝福の内に終えることが  
できました。大会の費用は6月7月とにまたが  
っての支払いがほとんどになるかと思われ  
ます。経済的にはかなり厳しい現状が予想  
されます。11月にはインドでのミッションも  
控えていますので、是非リバイバルの拡大  
のため続いてお祈りくださるとともに献金  
をもってご支援くださいますようお願いし  
ます。



**ALL JAPAN REVIVAL MISSION**  
全日本リバイバルミッション ☎0120-291-372

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1  
Tel.0536-23-6712 Fax.0536-23-6220  
<http://www.j-revival.com> office@j-revival.com  
※次号8月号(7月28日火)発行予定です。